

令和6年（2024年）12月20日

茨城県産業戦略部技術革新課

- 県の認可を受けた笠間市内の採石場内に、認可計画にないレンガが持ち込まれ、放射性物質の可能性が疑われた事案について、11月20日（水）に採石業者と地元住民が所有するそれぞれの測定器で、レンガ撤去跡地の空間線量率を測定しましたが、結果について国（原子力規制庁）に相談したところ、「精度に疑問があり、評価ができない」との回答がありました。
- これを受け、12月11日（水）、原子力施設管理等の業務実績を有する専門業者が、校正（※）を受けた測定器を使用して、レンガに関する場所の空間放射線量率や、レンガの放射能について測定を実施しましたので、その結果を以下のとおりお知らせします。
- 今回の測定結果を国に提供し、関係法令に基づく管理や指定の必要性について評価を依頼しております。今後、その結果についてもお知らせしてまいります。

※校正：放射能・放射線測定器の精度を確保するための作業。

<採石場内の空間放射線量率>

- ・レンガを撤去した跡地及び周辺の14箇所での測定
- ・使用計測器： γ 線用シンチレーションサーベイメータ

（単位： $\mu\text{Sv/h}$ ）

	1回目	2回目	3回目	結果
測点1	0.12	0.13	0.13	0.13
測点2	0.14	0.14	0.14	0.14
測点3	0.14	0.13	0.13	0.13
測点4	0.12	0.14	0.12	0.13
測点5	0.14	0.13	0.13	0.13
測点6	0.13	0.13	0.13	0.13
測点7	0.12	0.12	0.13	0.12
測点8	0.11	0.12	0.12	0.12
測点9	0.14	0.13	0.13	0.13
測点10	0.13	0.12	0.12	0.12
測点11	0.12	0.11	0.12	0.12
測点12	0.11	0.11	0.12	0.11
測点13	0.11	0.10	0.11	0.11
測点14	0.11	0.11	0.10	0.11

※（参考）福島第一原発事故後に除染計画検討のため設けられた基準値： $0.23\mu\text{Sv/h}$

<採石場内でレンガを破砕した機器における表面汚染密度>

- ・破砕に使用した機器で、特にレンガと接触した5箇所で測定
- ・使用計測器：GMサーベイメータ

	1回目 (cpm)	2回目 (cpm)	3回目 (cpm)	結果 (cpm)	表面汚染 密度(Bq/cm ²)
測点1	62	62	59	限界計数値 未満	検出下限値 未満
測点2	30	46	41	限界計数値 未満	検出下限値 未満
測点3	89	110	106	限界計数値 未満	検出下限値 未満
測点4	61	57	74	限界計数値 未満	検出下限値 未満
測点5	89	101	99	限界計数値 未満	検出下限値 未満

※（参考）福島第一原発事故後のスクリーニングレベル（物）：13,000cpm

<レンガの発生元（破砕後レンガ片の堆積地）における空間放射線量率>

- ・レンガ片の堆積地周辺4箇所で測定
- ・使用計測器：γ線用シンチレーションサーベイメータ

（単位：μSv/h）

	1回目	2回目	3回目	結果
測点1	0.15	0.16	0.14	0.15
測点2	0.15	0.15	0.16	0.15
測点3	0.14	0.14	0.12	0.13
測点4	0.12	0.12	0.13	0.12

※（参考）福島第一原発事故後に除染計画検討のため設けられた基準値：0.23μSv/h

<レンガ片の放射性核種分析>

- ・レンガ片を採取し、専門業者において分析実施
- ・使用計測器：Ge半導体検出器

試料中の放射能濃度（単位：Bq/kg）		
セシウム-134	セシウム-137	ヨウ素-131
4.45	337	検出限界値未満

※（参考）福島第一原発事故の影響で汚染された廃棄物の指定基準値：8,000Bq/kg